

令和7年度 第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議 議事録

日時：令和7年4月9日（水） 10：00～10：30

開催手法：WEB会議

1. 開会

副座長：

令和7年度第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議を開催いたします。本日の協議事項は、総合計画の後期まちづくり基本計画の策定に向けた現状報告と、市制110周年の記念基本方針案と今後のスケジュールについての議題2件です。事務局より説明をお願いします。

2. 総合計画・後期まちづくり基本計画の策定に向けた現状報告

事務局より資料に基づいて説明

<質疑・意見等>

委員：

これからの進め方について確認させていただきたい。4月から10月にかけて、それぞれの部会で議論していくということですが、我々、所管局とその部会との関係はどうなるのでしょうか。我々が意見表明をできるような場とか、具体的な進め方があれば教えていただきたいと思います。

事務局：

現時点での想定ですが、この振り返りの場においては、直接的に各局の皆さんも審議会に出席していただくということで考えておりません。私たち総合政策局の方で、審議会委員とキャッチボールをして、その中で出てきた疑問とか意見を各局の皆様にお伝えしていきたいと考えております。

ただ、令和8年度になりますと、計画策定のフェーズになり、このタイミングになりますと、計画策定時に総合計画審議会の中に個別の施策を検討する分科会を立ち上げますので、今回もその方向で考えています。この場合には各局の所管課長の皆様にもご出席いただいて、一緒に総合計画審議会で皆様と議論する場を持つことになると考えています。

まとめますと、令和7年度は、こちらは総合政策局で対応いたしまして、令和8年度は各局の皆様にも審議会に出席していただく可能性があるとうご理解いただければと思います。

委員：

総合計画に関わるのは初めてで、基本的な質問で恐縮ですが、先ほどからのご説明で、専門部会はある程度、事務局で委員を選定されていると思うのですが、この市民部会については、どうやって選ばれるのでしょうか。どうしてもこうした部会は、出席者が固定化してしまう傾向がありますので、フラットで多様な意見や、いわゆるサイレントマジョリティーの意見を抽出したい時に、どうやってこの部会

を形成するのかという質問です。

事務局：

この市民部会につきましては、既に昨年の令和 6 年度の審議会の改選で、公募によって委嘱しています。公募の結果としては、すでに各地域で活動されている方もいらっしゃる、これまで行政との関わりがなかったけれども、ふとしたきっかけで行政とつながって応募してみたという、サイレントマジョリティーに近い感覚の方もいらっしゃる、いい具合に混じり合った 6 名の委員構成になっていると考えます。

委員：

参考にお伝えしますが、前回、第 5 次総合計画の点検時は、総務委員協議会を開いて審議いただいたという日程になっていたと思いますので、今回も点検結果を協議会に計っていくことになるかと思いますが、策定に向けた協議会の日程についてはご留意いただければと思います。

事務局：

この点検プロセスの報告につきましては、令和 7 年度の 1 月に点検報告書を策定し、3 月に諮問を予定しています。令和 7 年度の 2 月議会の総務委員協議会におきまして、この点検報告書を報告させていただき、議会の皆様と共有させていただいた後に、令和 8 年度からの策定プロセスに入っていきたいと考えております。第 5 次総合計画の進め方を参考に、これから議会の皆様と、総合計画の審議の進め方についてお話しする場を持てればと考えております。

座長：

各部会での議論には非常に関心があって、例えばコミュニティの担い手の減少をどうしていくとか、地域幸福度をどう考えていくとか。非常におもしろい、魅力的な論点がたくさんあると考えています。

例えば、社会福祉協議会の加入率が下がっていることについては、社会福祉協議会の加入率を上げることだけでなく、いろんな地域の担い手を増やしていく、ということがこれから現実的な方法かとも思います。そういう基本的な考え方が、こういう総合計画審議会での点検と、後期計画策定の議論の中でできていくと非常に良いと思います。

また、地域幸福度についても、例えば、バリバリ働くこととか、昇進することとかが正しいという高度成長期の価値観では今はないですね。金銭的に豊かになる以外の幸福度っていうのが当然あるはずなので、そういう価値観をここでしっかりと議論して指標を考えていくというのは、挑戦的な取組ですごく大事なことだと思います。ぜひ、こういう議論が活発化していくことを期待したいと思います。

3. 市制 110 周年基本方針と今後のスケジュールについて

事務局より資料に基づいて説明

<質疑・意見等>

委員：

市制記念日の2026年10月8日は、何か式典を開催するというイメージでしょうか。

事務局：

2026年10月8日にするかどうかは、曜日の関係もあるので検討中ですが、何らかの形での式典の実施を現在検討しております。この式典の中身のコンテンツの進め方は、100周年には、かなり壮大だったのですが、110周年のタイミングで同様の規模感のものを実施するかということも含めて、これから企画をしていきます。

委員：

ご承知のように、決算特別委員会を開催するようになってから、10月初頭には本会議が入っていることが多くなっています。昨年も、10月8日がちょうど本会議の最終日でした。令和8年度は、その10月8日が木曜日ということであれば、本会議の日程の調整も必要になると思います。特に工事案件などがあれば影響が大きいので、日程調整については十分周知していただければと思います。

事務局：

式典については、10月8日に実施することは現時点では考えておりません。開催するのであれば、集客的にも、10月10日の土曜日が良いと考えています。これから検討することではありますが、式典については土日での開催が望ましいと考えています。

副座長：

この基本方針案というのは、各局長には事前に説明をしてありますか。

事務局：

担当課との意見交換は行なっていますが、局長の皆様には正式にご説明をさせていただくのは本日が初めてです。

副座長：

では、今日初めて聞いて、なかなか意見を言いにくい状況もあるかもしれません。ということであれば、今日この説明を受けて、今後、この基本方針案に意見があれば、それはどんな形で提案し、議論していけるのでしょうか。

事務局：

現時点では、この方針は（案）とついていて、現時点で固まっておりません。今日のこの場をもって確定させるということでもありませんで、この後、順々に議会の各議員の皆様にもご説明に回りますし、先ほど申し上げました関係者による「あまがさき 110 ミーティング」という場で意見聴取の場も持っていますので、皆様の意見を聞きながら調整する時間がございます。

予定としましては、資料にもありますが、5月下旬から6月上旬ぐらいにかけて確定をさせることができると考えておりました、この後、いただいたご意見を反映させながら、最終調整を進めていければと考えております。

座長：

これから、各局長や職員の皆さんにも様々な想いがあるかと思しますので、意見をもらいながら、この基本方針を踏まえた110周年の形を作っていきたいと思えます。そういう意味では、これはこの業務の担当課がやっています、という形ではなくて、全庁的に思いを共有しながら動かしていけたらいいと考えています。もちろん、市民も巻き込みながら進めていきたいと思えます。

コンセプトは「みんなの『やりたい』をやろう」ですけれども、これは110周年に向けてのコンセプトであって、110周年そのものの「テーマ」はまた別途作っていくものと認識しています。110周年、さらにその先にどのようなまちになってもらいたいのかとか、どのようなまちにしていこうかというビジョンは、この110ミーティングでも議論しながら今後決めていくと思えます。この「ロゴマーク」や「テーマ」の議論については、総合計画の後期まちづくり計画とも連動をするところですし、今後の市のいろんな事業の思想とも連動していくと思えますので、みんなでよく考えていきたいと思えます。

テーマを考えるのはとても難しく、私も妙案が思いつかないのですけども、例えば、自治のまちづくり条例を作り、生涯学習プラザができて、市民提案制度もできた。そして、市民と市が一緒にいろいろなものを作っていく文化ができてきた、という流れがあって、行政も最近では、南の口公園に、地域の人と大庄地域課で一緒に広場をつくっていくとか、ゼロカーボンベースボールパークも民間と市が連携して公園をつくっているとか、中央公園でも阪神電鉄と市が一緒に作っていく、ということを進めています。

市民や民間の事業者と市役所が連携をして、まちづくりをしていく具体的な形が出てきていると思えます。そして、この10年先にどうなっていくのだろうとか、どうしていきたいのかとか、この動きの先にシビックプライドが生まれてくる、といったところを議論しながら、テーマやロゴマークが決まっていくといいと思えます。難しいので、今ここでぱっと思いつかないのですが、今日はあくまでキックオフのための最初の会議ということですので、これから皆様の積極的なご意見を期待するところです。

事務局：

110周年基本方針や総合計画の進め方について、ご意見等がございましたら、いつでも都市政策課までいただければ、一緒に議論させていただきます。よろしくお願いいたします。

副座長：

これをもちまして、令和7年度第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議を終わります。

以 上